

## 子どもの相談体制の充実について

子ども未来部 子ども青少年政策課

子ども未来部 子どもの育ち見守り室 子ども相談課

学校教育部 教育支援室 児童生徒支援課

### 1. 政策等の背景・目的及び効果

いじめや不登校、虐待など、子どもが抱える課題が複雑・多様・複合性を増している中、（１）ICTを活用して子どもが自ら気軽にSOSを出したり、そうしたサインを見逃さない仕組みづくり「SNS相談と子どもの気持ちの可視化の実証実験」、（２）課題を抱える子どもやその家庭に、直接的に関わったりアウトリーチして、教育・福祉の両面から相談支援を行う体制づくり「スクールソーシャルワーカー事業」について、この間の取り組み状況と、今後の方向性を報告するものです。

## 2. 内容

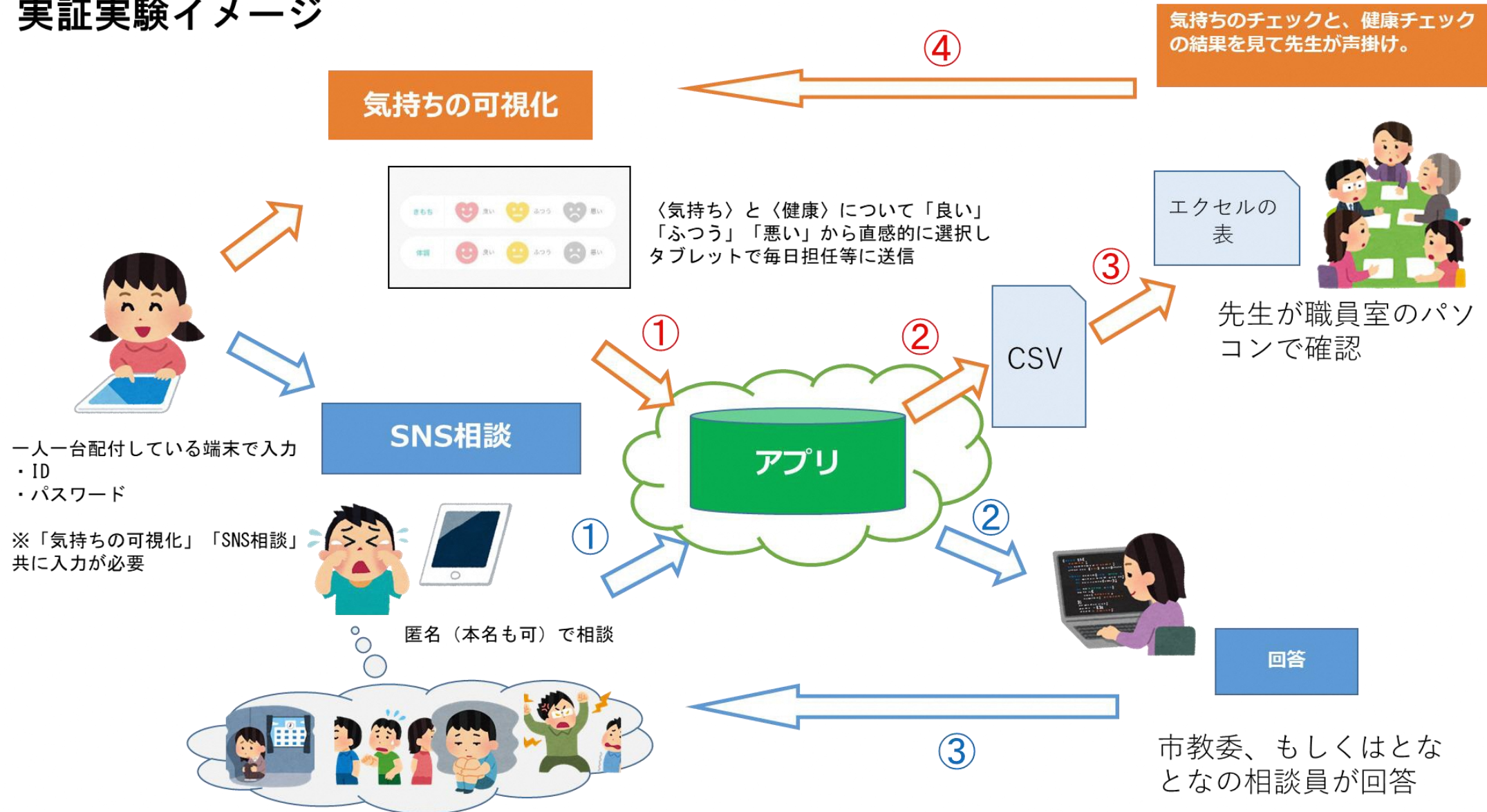
### (1) SNS相談と子どもの気持ちの可視化の実証実験について

#### ①実証実験の概要

令和4年(2022年)6月28日(火)から9月30日(金)まで、2小学校2中学校の全児童生徒2,183人を対象に、こども相談チャットアプリ「ぽーち」(「縁側」を意味し、縁側で話をするように身近にリラックスした状態で相談ができるという意味が込められています)を活用して、「SNS相談」と「気持ちの可視化」について実証実験を行いました。

実証実験の結果概要は別紙のとおりです。

# 実証実験イメージ



## ②実証実験における効果と課題

### <気持ちの可視化>

#### [効果]

- 「先生に気持ちや体調を知ってもらえて良かった」という声が多かった  
→教員に対し、今の自身の状況を知ってもらいたいというニーズがあること、またこのツールを使って児童生徒が今の状況を発信していることは一定確認できた。

#### [課題]

- 顔のアイコン「よい」「ふつう」「わるい」からの3択だったが、選択しづらいという声があった  
→3つの選択肢では、気持ちを表すには不十分と思われ、選択肢を増やすことが必要。
- 教員の使いやすさを向上させたシステム改良の必要性  
→児童生徒が体調・気分を入力した内容が、教員が日常使用しているタブレットでは確認できず、別のパソコンでエクセルの表によって確認しなければならなかったため、教員の負担軽減につながるシステム改良が必要。

## < SNS相談 >

### [効果]

○相談のハードルを下げることができた

→児童生徒からのコメントの延べ件数：2,038件

相談として成立した件数：249件

(参考) 「子どもの笑顔を守るコール」令和3年度(2021年度)実績：子ども本人からの相談は3件

○セーフティネットの機能を担うことができた

→希死念慮や虐待を受けている旨の相談内容があり、相談者を特定した件数：2件

現在、学校と教育委員会、子どもの育ち見守り室による継続した見守りを行っている。

### [課題]

○相談に対して即応できないケースがあった

→アンケートでは「返信がくるのが遅かった」という感想も複数あり、相談体制の整備とあわせて、

即応できない場合は、時間をおいて返事をする旨のメッセージを発信するなどの工夫が必要。

## < SNS相談、気持ちの可視化共通 >

### [効果]

- SNS相談で気になるケースは、気持ちの可視化で「わるい」を選択している場合が多かった
  - SNS相談で特に気になるケースについて、匿名性を確保した上で気持ちの可視化の結果と連携して検証したところ、「わるい」が連続しているケースや相談をした日に「わるい」を選択しているケースが多かった。このことから「気持ちの可視化」が教員から児童生徒に声かけをしたり見守りをするきっかけとして有効なツールであることが一定確認できた。

### [課題]

- 毎回のIDとパスワード入力に手間がかかった
  - なりすまし等を防ぐために必要な入力であるが、簡易化を図ることが必要。

### ③今後の方向性

○検証後に改良が図られたシステム※により、再度2月（予定）に実証実験を行い、令和5年度（2023年）から全小・中学校63校で開始する。

ただし、実証実験の結果から見えたように、事業開始時は相談数が一時に集中することが想定されるため、段階的に導入する等の対応を行う。

#### ※システムの主な改良点

- ・ I D、パスワード入力の簡易化
- ・ 気持ちの可視化の選択肢を3つから5つに拡大
- ・ 教員が日常使用しているタブレットで、気持ちの可視化の入力状況を確認できる管理画面の作成
- ・ S N S相談で即応できない場合のメッセージ送付

○公立小・中学校以外に通うスマートフォンなどによる18歳以下の子どもの相談については、公立小中学校の導入の完了後に開始する。

#### ④相談体制

○相談に対する専門性を確保するため、まず子ども相談課で確認・対応を行い、相談内容に応じて教育委員会につなぐこととする。SNS相談専門の相談員として、心理士等を子ども相談課と児童生徒支援課に配置する（いずれも会計年度任用職員、週2～4日勤務）。

○スクールソーシャルワーカーが社会福祉士・精神保健福祉士の見地からのフォローを行う。

○SNS相談の専門性を有し、相談員に助言等を行うスーパーバイザーを配置する。

※実証実験の結果より、全校で実施した場合、1日230件程度相談がある想定で人員の配置を計算

#### ⑤実施時期（予定）

令和4年（2022年）	11月	教育子育て委員協議会及び教育委員会協議会にて実証実験の結果を報告
	12月	定例月議会においてシステム構築に係る補正予算計上予定 相談員を募集
令和5年（2023年）	2月	再度実証実験を実施
	4月以降	全小・中学校で段階的に開始



## ⑥事業費、財源及びコスト

【令和4年度（2022年度） 12月補正予算（債務負担）】

システム構築及び運用経費

《事業費》 使用料及び賃借料 27,000千円（5年債務）

《財源》 一般財源

【令和5年度（2023年度） 当初予算】

《事業費》 ◎人件費 14,906千円（相談員：心理士等の会計年度任用職員）

◎報償費 600千円（相談員へのスーパーバイザー）

《財源》 一般財源

## (2) スクールソーシャルワーカー事業について

### ① 事業の経過

市立小中学校において子どもの養育環境全般を把握し、一人ひとりのさまざまな状況に応じてアセスメント（見立て）を行うとともに、教育・福祉の両面から適切な相談支援を行う「スクールソーシャルワーカー（SSW）事業」について、令和3年度（2021年度）に、当該事業を市長部局へ移管（補助執行）し、6名のSSWが就学前・就学後における継続的な児童生徒等への相談支援活動を行うなど、教育と福祉のさらなる連携強化のための体制への見直しを行いました。

### ② 事業の取り組み状況

本市では、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有する6名のSSWを拠点校に1名ずつ配置しており、拠点校での相談支援のほか、拠点校以外の小中学校に対して学期ごとの巡回訪問等を展開しております。現在、任用されてから2年目となり、継続して支援する中でも、児童生徒の抱える問題として次のような傾向があり、こうした背景には、家庭の生活面、経済面での問題が多く関わっていることも見受けられます。

拠点校においてSSWの活動も定着し、その活用も十分進んでいる中、今後は学期ごとの巡回訪問等で対応している拠点校以外の57小中学校においても、SSWの活用が浸透し、さらにSSWが活動の裾野を拡げていくことが肝要です。

◎ 支援の対象となった児童生徒数（令和3年度（2021年度））

	支援児童・生徒の総数	うち、継続支援数
小学校	594名	289名
中学校	290名	122名
計	884名	411名



※ 継続支援の対象となった児童生徒の抱える主な問題（延べ件数）

不登校	167件
いじめ、暴力行為、非行等の問題行動	58件
児童虐待	56件
ヤングケアラー	15件
発達障害等に関する問題	82件

### ◎ S S Wによる支援の対象となった児童生徒数

支援対象児童生徒数	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）※
拠点校	330名（6校）	214名（6校）
それ以外	554名（58校）	328名（57校）
計	884名（64校）	542名（63校）

※ 令和4年度（2022年度）は1学期のみ

### ③ 事業を取り巻く背景等

全国的に、義務教育段階での不登校児童生徒数が増加傾向を示し、児童虐待相談対応件数も急増しています。また、ヤングケアラー対策として、その支援体制を強化するための相談体制の充実も課題となっています。こうした中、国においては、児童生徒への早期かつ手厚い支援に向けた相談体制の充実に向けた動きとして、S S Wの全中学校区への配置を示しているほか、ヤングケアラー支援体制を強化するための補助金が創設されています。

#### ④ 相談支援体制の今後の拡充に向けた取り組み

国が示している教育相談体制の充実に関する指針等に加え、今後予定しているSNS相談事業の本格実施も含め、児童生徒に関わる諸課題に向き合い、着実に解決につなげられるよう、SSWの配置を人材育成の観点なども踏まえ段階的に増員（イメージ図を参照）するとともに、ヤングケアラー支援の視点も合わせ持ちながらSSWへ助言・援助を行うコーディネーター機能を担う人材の確保を進めます。

(イメージ図)

令和4年度 (2022年度)【現行】	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)以降
SSW 6名	13名(※)	19名(※)

※ この中から、ヤングケアラー対策のコーディネーターと兼務する者を配置

#### ⑤ 実施時期（予定）

令和4年（2022年）12月	SSWの追加募集
令和5年（2023年）4月	SSWを7名増員して事業を拡充
令和6年（2024年）4月以降	SSWを計19名として体制を整備

## ⑥ 事業費、財源及びコスト

【令和5年度（2023年度）当初予算】

### 《事業費》

人件費： 29,777千円（ヤングケアラー支援を兼務する1名分を含む）

物件費： 1,192千円（タブレット購入費、通信運搬費、等）

### 《財源内訳》

国庫支出金 11,460千円（SSW活用：補助率1/3、ヤングケアラー支援：補助率2/3）

一般財源 19,509千円

※ なお、令和6年度（2024年度）でも、SSW6名の配置に係る人件費と、必要となるタブレットの購入等の物件費が必要となる見通しです。

### 3. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

枚方市SDGs取組方針



### 4. 関係法令・条例等

子ども・子育て支援法、児童福祉法、教育基本法、学校教育法

子どもを守る条例 他

## SNS 相談実証実験 結果概要

**1. 実証実験の概要**

## (1) 目的

- 児童生徒のセーフティネットの一つとする。
- 一人一台の端末から相談できることで、相談のハードルを下げる。
- 相談内容や相談件数を分析し、今後の体制を検討する。

## (2) 内容

- 匿名で相談ができる
- 緊急性の高い相談については相談者を特定し、現状把握と支援方針を検討する。

## (3) 相談体制

市教育委員会の電話相談員、教育推進プランナー、指導主事が確認・対応し、学校以外で関わるべき相談については、子ども相談課に繋ぎ、家庭児童相談員（臨床心理士）が対応する。

**2. 実施期間**

令和4年6月28日（火）から令和4年9月30日（金）まで  
相談対応時間 午前9時から午後5時30分まで（土日祝日を除く）  
以下の期間は夜8時まで対応

## (1) 夏休み開始直後

7月21日(木)から7月29日（金）

## (2) 夏休み終了前後

8月24日（水）から8月30日（火）

※上記以外の時間帯については、24時間対応できる相談先（大阪府すこやか教育相談24）を案内

**3. 相談対象者**

2小学校 1,315名  
2中学校 868名  
合計 2,183名



#### 4. 相談件数

「新しくチャットをはじめる」ボタンが押された回数 3716 件

→ジャンル選択へ進まず退出した人数 1711 件

「かぞく」「ともだち」等のジャンルを選んだ件数 2005 件

→ジャンルを選択しただけでコメントを入力せず退出した件数 981 件

相談内容のコメントを入力した件数 1024 件

① 応談者による返信がある前に退出した件数 210 件

② 応談者が返信したが、その後の返事なく退出した件数 565 件

③ 応談者とのリレーがあり相談が成立した件数 **249 件**

※相談が成立した件数 児童生徒からの相談に対して応談者が返事し、さらに児童生徒から返事があったものを相談が成立した件数とみなします。

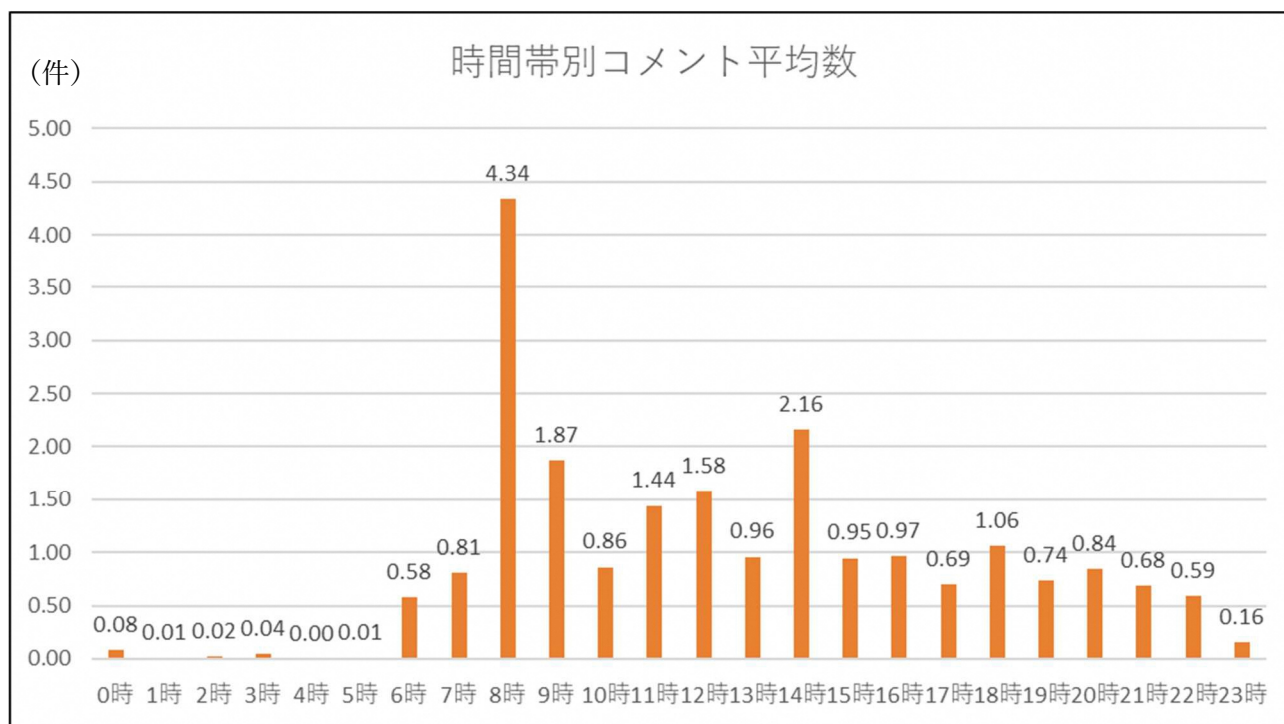
リレーが成立した件数 249 件の内、アンケートに回答した件数

利用後のアンケート回答あり・・・63 件

利用後のアンケート回答なし・・・186 件

#### 5. 時間帯別相談件数

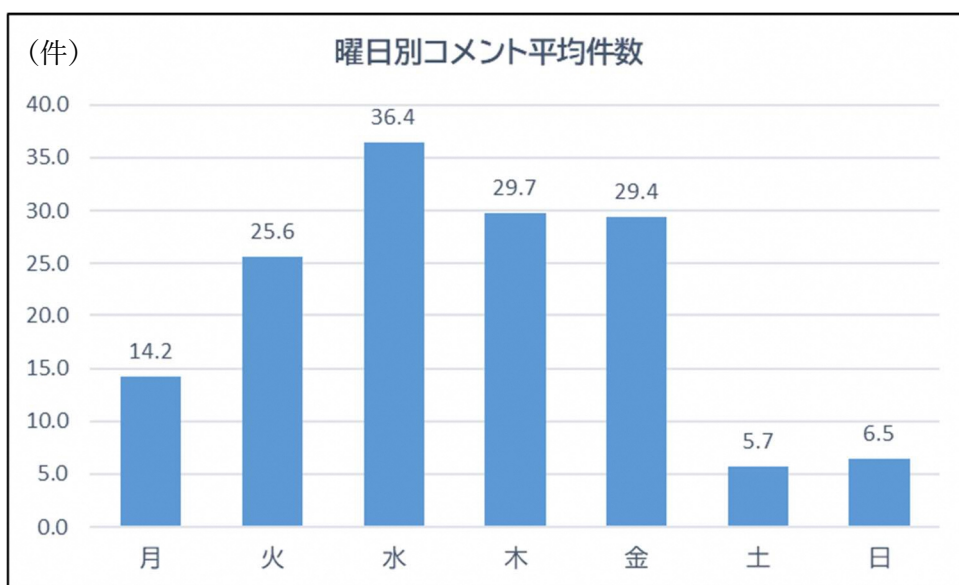
コメントの総数は 2,038 回



## 6. 曜日別相談件数

曜日別に児童生徒がコメントを残した件数

曜日	コメント数	一日の平均件数
月	184	14.2
火	359	25.6
水	510	36.4
木	416	29.7
金	411	29.4
土	74	5.7
日	84	6.5
総計	2038	21.4



## 7. 男女別相談件数

相談が成立した 249 件の内訳

	総計	男性	女性	その他	不明
相談実施件数	249	80	149	1	19
		32.1%	59.8%	0.4%	7.6%

## 8. 学年別相談件数

	合計	小学1年生	小学2年生	小学3年生	
相談実施件数	249	3	9	23	
		1.2%	3.6%	9.2%	
		小学4年生	小学5年生	小学6年生	
		21	37	31	
		8.4%	14.9%	12.4%	
		中学1年生	中学2年生	中学3年生	不明
		30	29	45	21
		12.0%	11.6%	18.1%	8.4%

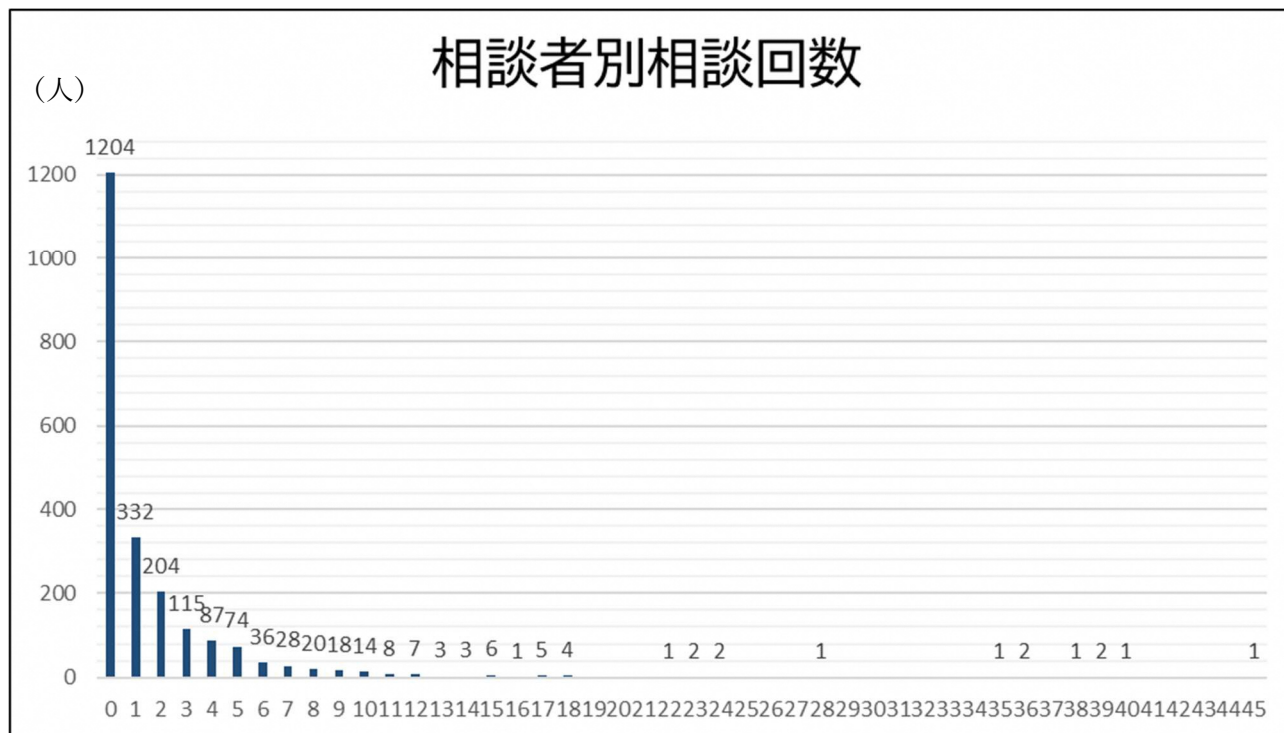
## 9. 相談回数

1度も「新しくチャットをはじめる」を押さなかった児童生徒が1,204人（対象のうち55%）いた。

「新しくチャットをはじめる」を10回以上押した児童生徒は65人いる。

最大で45回「新しくチャットを始める」を押した児童生徒が一人いる。

ただし、トークルームが45回も開かれたということではなく、「新しくチャットを始める」を押した後、相談内容を入力せずに退出している件数も相当数あった。



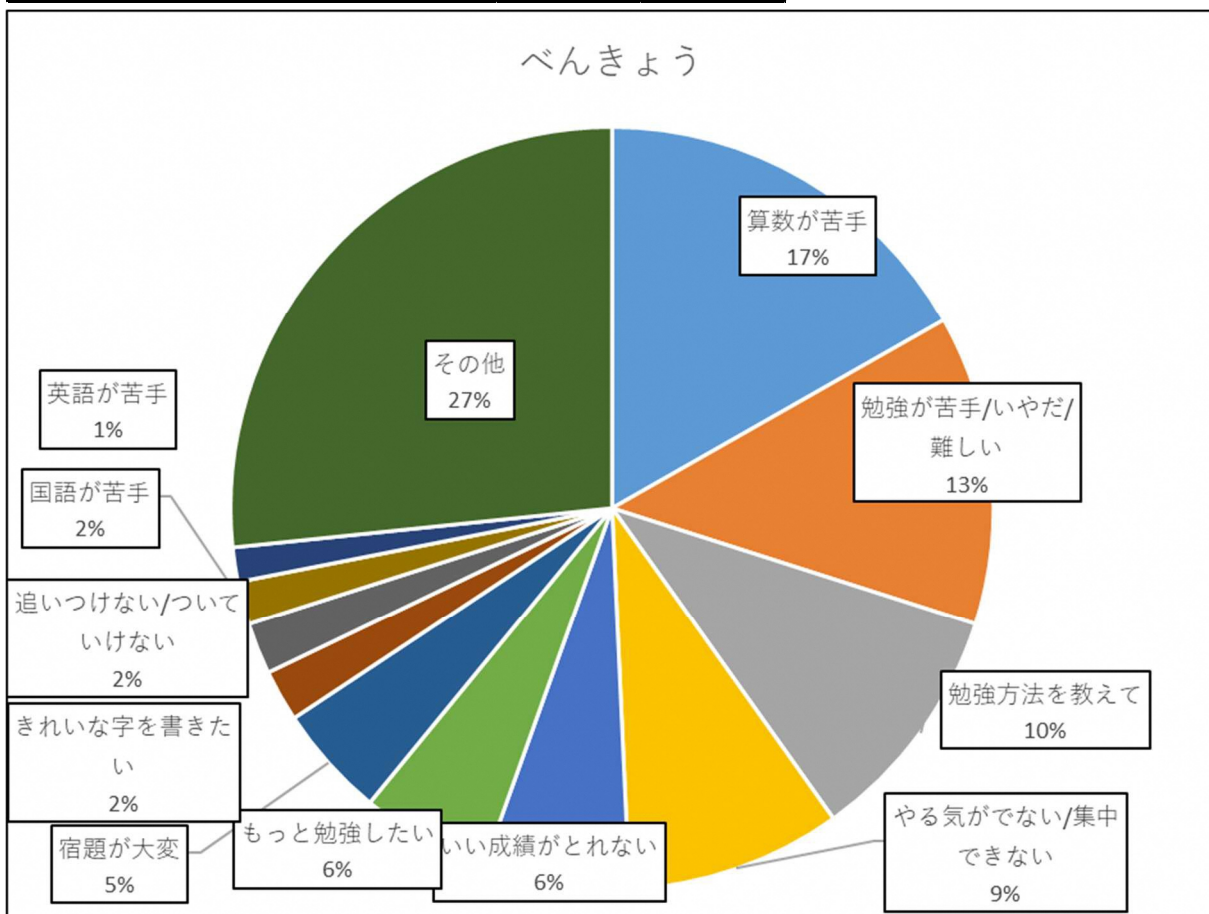
## 10. 相談ジャンル

ジャンル	件数	割合 (%)
べんきょう	274	26.8
ともだち	219	21.4
けんこう	149	14.6
かぞく	96	9.4
そのた	286	27.9
合計	1,024	—

## 1.1. ジャンルごとの相談内容内訳

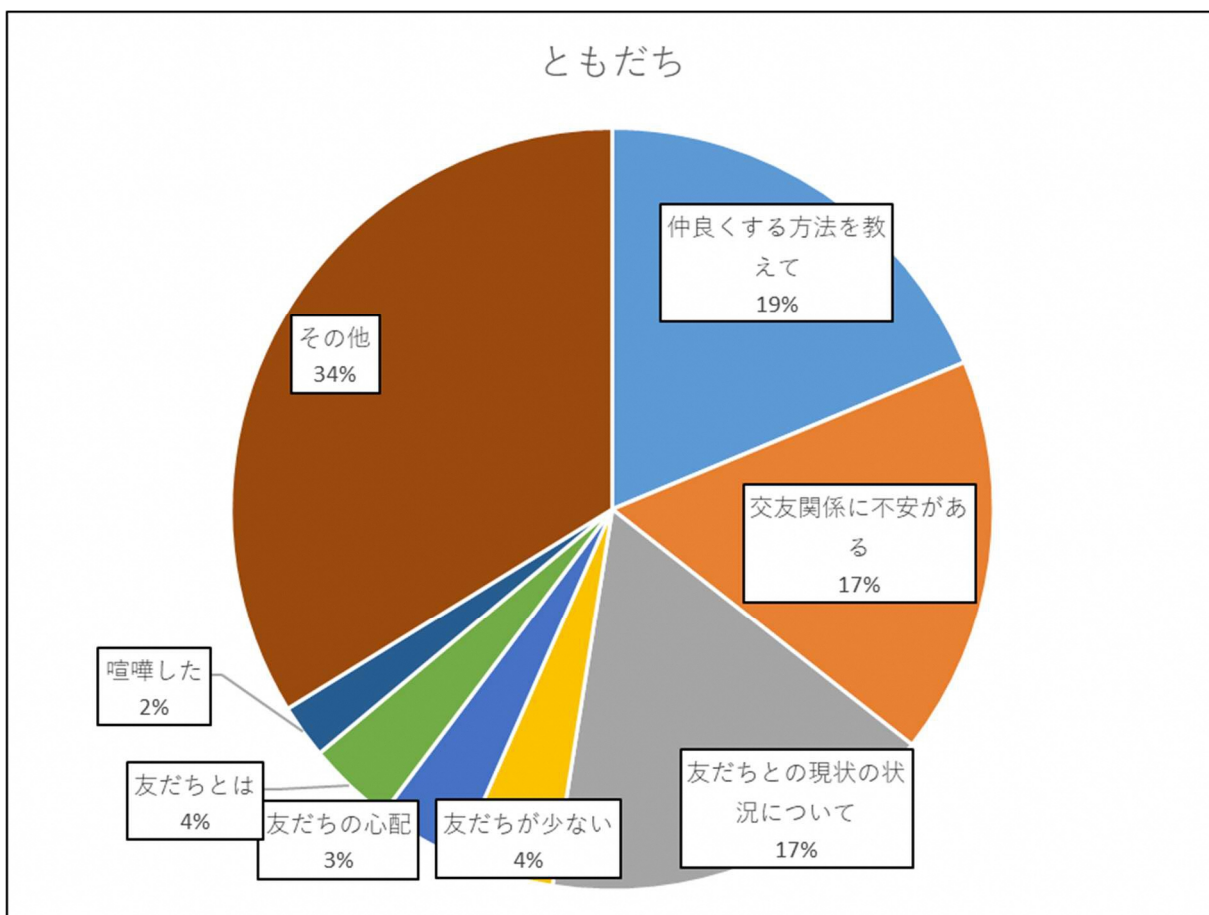
### (1) べんきょう

相談概要	数	割合
算数が苦手	46	16.8%
勉強が苦手/いやだ/難しい	36	13.1%
勉強方法を教えて	28	10.2%
やる気がでない/集中できない	25	9.1%
いい成績がとれない	17	6.2%
もっと勉強したい	15	5.5%
宿題が大変	13	4.7%
きれいな字を書きたい	6	2.2%
追いつけない/ついていけない	6	2.2%
国語が苦手	5	1.8%
英語が苦手	4	1.5%
その他	73	26.6%
	274	100%



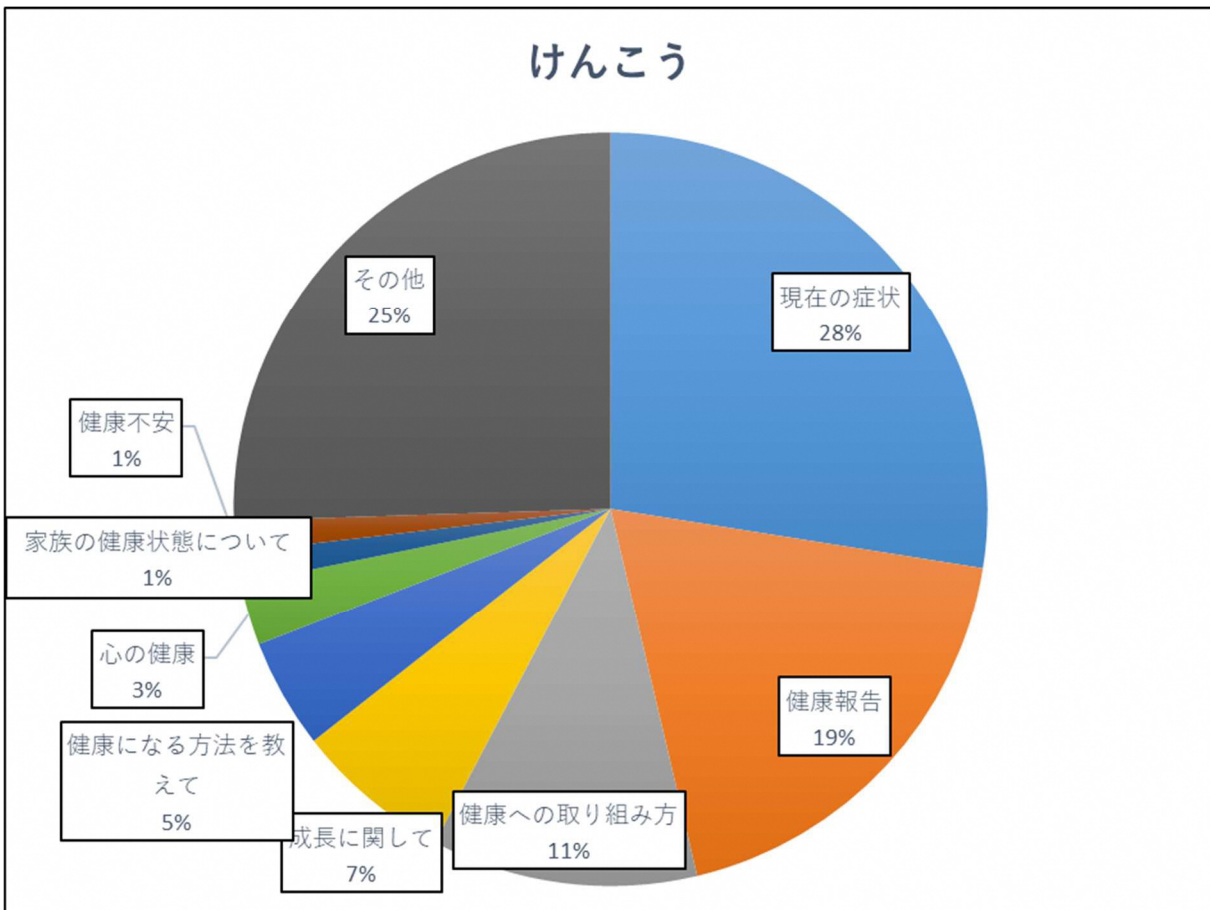
(2) ともだち

相談概要	数	割合
仲良くする方法を教えて	41	18.7%
交友関係に不安がある	37	16.9%
友だちとの現状の状況について	37	16.9%
友だちが少ない	9	4.1%
友だちの心配	8	3.7%
友だちとは	8	3.7%
喧嘩した	5	2.3%
その他	74	33.8%
	219	100%



(3) けんこう

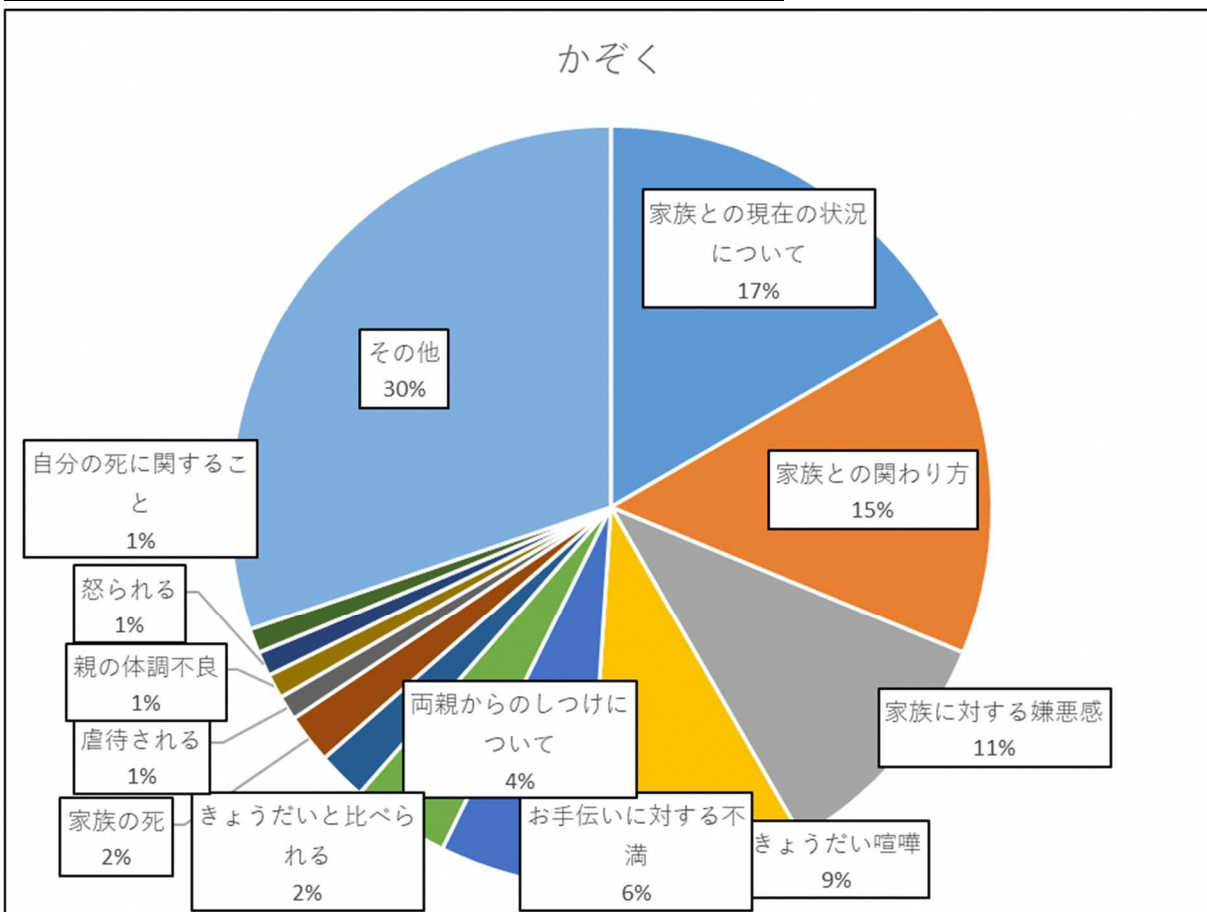
相談概要	数	割合
現在の症状	41	27.5%
健康報告	28	18.8%
健康への取り組み方	17	11.4%
成長に関して	10	6.7%
健康になる方法を教えて	7	4.7%
心の健康	4	2.7%
家族の健康状態について	2	1.3%
健康不安	2	1.3%
その他	38	25.5%
	149	100%





(4) かぞく

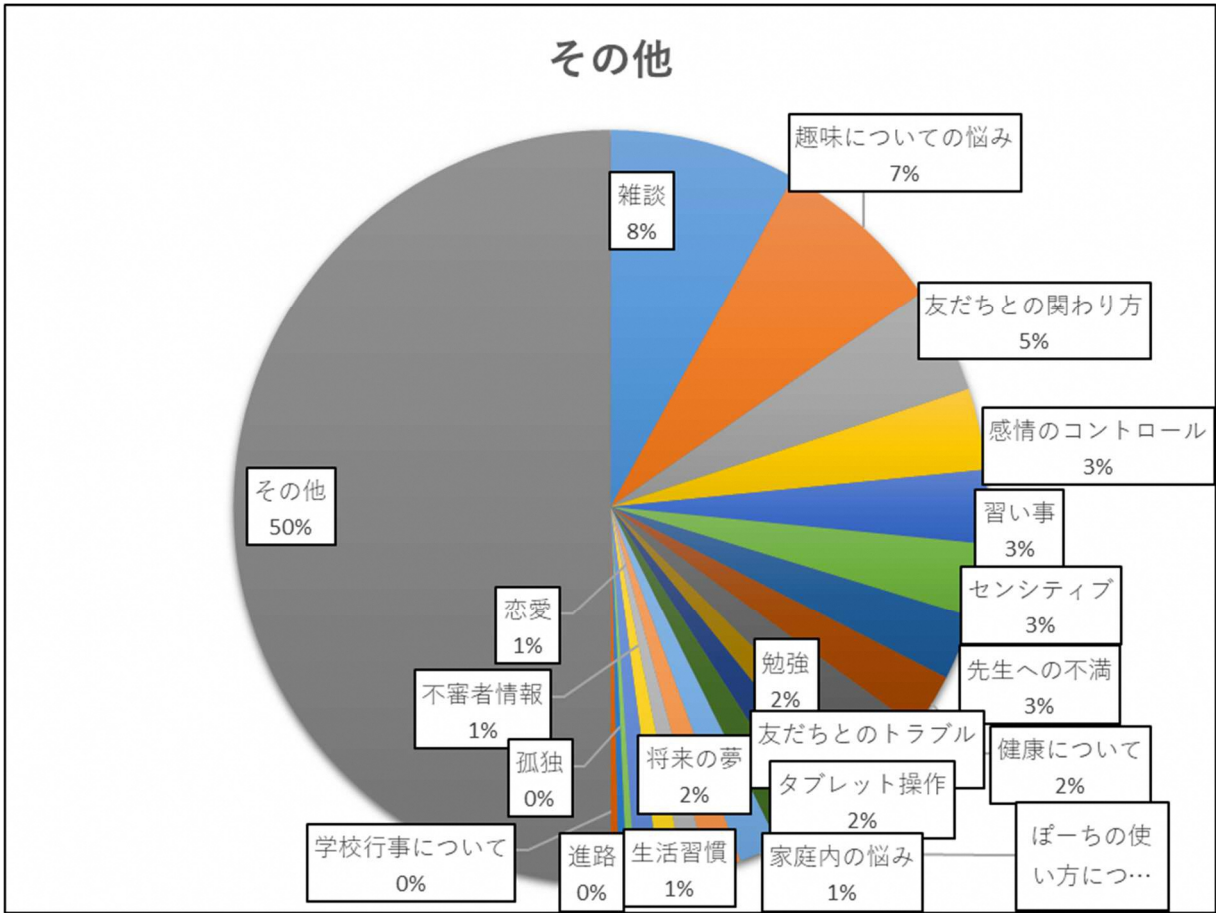
相談概要	数	割合
家族との現在の状況について	16	16.7%
家族との関わり方	14	14.6%
家族に対する嫌悪感	10	10.4%
きょうだい喧嘩	9	9.4%
お手伝いに対する不満	6	6.3%
両親からのしつけについて	4	4.2%
きょうだいと比べられる	2	2.1%
家族の死	2	2.1%
虐待される	1	1.0%
親の体調不良	1	1.0%
怒られる	1	1.0%
自分の死に関すること	1	1.0%
その他	29	30.2%
	96	100%





(5) その他

相談概要	数	割合
雑談	23	8.0%
趣味についての悩み	21	7.3%
友だちとの関わり方	13	4.5%
感情のコントロール	10	3.5%
習い事	9	3.1%
センシティブ	9	3.1%
先生への不満	8	2.8%
健康について	7	2.4%
勉強	7	2.4%
友だちとのトラブル	5	1.7%
将来の夢	5	1.7%
タブレット操作	5	1.7%
ぽーちの使い方について	5	1.7%
恋愛	4	1.4%
不審者情報	3	1.0%
家庭内の悩み	3	1.0%
生活習慣	3	1.0%
孤独	1	0.3%
進路	1	0.3%
学校行事について	1	0.3%
その他	143	50.0%
	286	100%



## 1.2. アプリ内におけるアンケート結果（回答があった63件の内訳）

「悩みは解決したかな？」

回答	回答数	割合
①とても解決した	39	61.9%
②解決した	14	22.2%
③どちらとも言えない	6	9.5%
④解決しなかった	1	1.6%
⑤まったく解決しなかった	3	4.8%
合計	63	100.0%

自由意見

- 相談してみてよかった
- また相談したい
- スッキリした
- 良いアドバイスがももらえた
- 返信が遅い

## 学校で行ったアンケート

### <小学校1～3年生>

(1) 「ぼーち」を使ってどうでしたか？

1 かんたん	148	57%
2 こまった	30	12%
3 つかわなかった	58	22%
4 むずかしい	24	9%
総計	260	100%

(2) どのくらい、「きもち」と「たいちょう」をにゅうりよくしましたか。

1 1しゅうかんに1日 くらい	24	9%
2 3日に1日 くらい	58	22%
3 にゅうりよくしていない	87	33%
4 まいにち	91	35%
総計	260	100%

(3) 「ぼーち」の改善に向けた要望、感想

- ID やパスワードを入れるのがめんどくさい
- 楽しい・うれしい
- 使えない
- 返事が遅い
- むずかしい

<小学校 4～6年生>

(1) 「ぼーち」の気持ちと体調の入力について、どう感じましたか。

1 簡単だった	236	64.0%
2 難しかった	20	5.4%
3 どうしてよいか、困ってしまった	35	9.5%
4 入力しなかった	78	21.1%
総計	369	

(2) どのくらいのペースで気持ちと体調を入力しましたか。

1 ほぼ毎日	128	34.7%
2 3日に1日程度	24	6.5%
3 1週間に1回程度	27	7.3%
4 ほぼ入力していない	102	27.6%
5 まったく入力していない	88	23.8%
総計	369	

(3) 自分の「気持ち」を先生に知ってもらうことについて、どう思いましたか。

1 「気持ち」を知ってもらってよかった	266	72%
2 「気持ち」を知って欲しくなかった	103	28%
	369	100%

◆「気持ち」を知ってもらってよかった、を選んだ理由

- しんどいことがあったり、嫌なことがあれば気づいてもらえるから
- 自分の気持ちを理解してもらったような気持ちになったから
- 先生に直接言わなくても、先生がわかってくれているから
- 言葉で言うより簡単だから
- 自分自身で、体調悪くなった時と、体調が良いときが、すぐにわかると思うから

◆「気持ち」を知って欲しくなかった、を選んだ理由

- 知ってもらいたいとは思わないから
- 調子が良くないと送信して心配されると疲れるから
- 友だちの方が解決できることもあるから
- プライベートなことを知られたくないから
- そもそも悩み事はないから

(4) 自分の「気持ち」をカレンダーで振り返ってどう思いましたか。

1 自分の「気持ち」に発見があった	41	11%
2 自分の「気持ち」に発見はなかった	104	28%
3 振り返らなかった	224	61%
総計	369	—

◆自分の「気持ち」に発見があった、と答えた人は、どんな発見がありましたか

- 毎日元気に過ごせているという発見があった
- 落ち込んだ時がすぐわかった
- 自分の気持ちにちゃんと気づけた
- いい気分の日と、ちょっと気分が悪い時、それぞれあると思った
- 自分にとってしんどい気持ちがあることを発見できて、困ったときに質問したら良いということを知った

(5) 「ぼーち」の改善に向けた要望、感想

- ログイン方法の改善
- アプリの改善
- 返事が遅い

<中学生>

(1)「ぼーち」の気持ちと体調の入力について、どう感じましたか。

1 簡単だった	335	74.8%
2 難しかった	33	7.4%
3 どうしてよいか、困ってしまった	25	5.6%
4 入力しなかった	55	12.3%
	448	100.0%

(2) どのくらいのペースで気持ちと体調を入力しましたか。

1 ほぼ毎日	251	56.0%
2 3日に1日程度	77	17.2%
3 1週間に1回程度	30	6.7%
4 ほぼ入力していない	53	11.8%
5 まったく入力していない	37	8.3%
	448	100.0%

(3) 自分の「気持ち」を先生に知ってもらうことについて、どう思いましたか。

1 「気持ち」を知ってもらってよかった	312	70%
2 「気持ち」を知って欲しくなかった	136	30%
	448	100%

◆「気持ち」を知ってもらってよかった、を選んだ理由

- 友だちなどに知られずに先生に今の気持ちが伝わるから
- 問題がないことを先生に知ってもらうことができたから
- 正直になれる
- 伝えられない時があるから
- 体調や気分が悪い時に気づいてくれるから
- 先生に相談できるかも知れなかったから

◆「気持ち」を知って欲しくなかった、を選んだ理由

- 気持ちを知られたくないから
- めんどくさい
- プライベートなことを知られたくない
- 教えたところで何にもならないし自分がしんどい時だけしたらいい
- 恥ずかしかったから

(4) 自分の「気持ち」をカレンダーで振り返ってどう思いましたか。

1 自分の「気持ち」に発見があった	17	4%
2 自分の「気持ち」に発見はなかった	102	23%
3 振り返らなかった	329	73%
	448	100%

◆自分の「気持ち」に発見があった、と答えた人は、どんな発見がありましたか。

- 毎日元気ということ
- 悪い日が続いていた
- 気持ちが良くなかったけれど、元気に過ごせるようになった

(5) 「ぼーち」の改善に向けた要望、感想

- 先生や友達に話したほうが早い
- ID パスワードが面倒 すぐログインできるようにしてほしい
- 3 択は微妙な時困るから 5 択にしてほしい
- 返事が早くほしい



<職員（小学校）のアンケート結果>

(1) 操作について

1 配慮を要する子どもも含めて、子どもたちは、簡単に入力していた。	5	38%
2 子どもたちは、入力に戸惑っており、教員が何度も説明する必要があった。	8	62%
合計	13	

(2) 「ぽーち」の利用による教職員の負担感について

1 負担感がある	10	76.9%
2 負担感はない	3	23.1%
合計	13	

(3) (2)で「負担感がある」と答えた方は、具体的にどのようなことを負担に感じましたか

ログイン方法操作方法を教えるのに時間がかかる	
	初期設定？を教えるのが難しかった。個人 ID とパスワードをどんな形で管理するのがベストかわからなかった。
	最初のログインや説明に時間がかかる。慣れるまでに何度も説明する必要がある。
	低学年だと、ログインやパスワードの入力指導に、時間を要する。(入力ミスの対応含む)
その他	
	声かけしないとしない児童も多くいたため、毎日の声かけが必要になる。
	提出したかの確認がタブレットでできなくて、その場で声掛けが行えない。
	学校で実施する時間の確保が難しい。

(4) 今回、「ぽーち」を実施したことによる好事例

実施している児童の気持ちの変化の確認ができる。相談相手になっていただいで喜んでいた児童がいた。
顔のアイコンは、子どもたちにも覚えられやすく、説明しやすかった。ハートやニコちゃんマークのアイコンデザインは、かわいらしく、子どもたちもすぐに覚えていたし、楽しそうだった。
いじめや気になる児童の様子が若干分かった。 また彼らの日頃の寂しさも垣間見えたから。
児童の気持ち等がわかる。

定着すれば、朝の健康管理と同様に心の様子もチェックできる

### (5) 改善すべき点

#### ログインに関する要望

毎回自分の番号とパスワードを入れることに時間がかかる。 毎回ではなく、ログイン状態を維持できるようにしてほしい。また、低学年のパスワードは簡単なものにしてほしい。
ログインが、学びばと連動できるようになること。
ID とパスワードの入力においてどちらをきかれているのかが分かっていない児童がいた。
ID が入らなかったりと、すぐには入力画面にいけなかったのもっと簡単に入れるとみんな使えると思います。

#### アプリに関する要望

最初の頃、ちゃんとやっていたのにまったく反映されていなかったので正式に実施する時は、そのようなことがないようにしてほしい。
タブレットと即時に確認できるようになるとありがたい。現在は、パソコンでの確認になるため、結局確認するのは子どもたちが帰った放課後になってしまうので。
子どもたちの入力したもの（その日の気分と体調）は、教員の方にすぐ見られるようにしてほしい。
入力したかどうかをタブレットで見れるようにしてほしい。
LINEのように会話してる感？でIDなどを入力するのは親近感が湧いて良い感じだったが、文字が小さいのと、下の方でちょこちょこってするのが見にくかった。
教師が一覧等でタイムリーに確認できるとよい。

#### その他

個人名は伏せたままでいいので、チャット相談があった場合には、出来るだけすぐに学年だけでも教えてほしい。
取り組みとしては賛同しているので、より使いやすくなればいいと思う。
開始が現場に取りまして時間的に学期末の忙しい時であったので、時期を考慮してもいいのではと思いました。
低学年には慣れるまで時間がかかった印象。

<職員（中学校）のアンケート結果>

(1) 操作について

1 配慮を要する子どもも含めて、子どもたちは、簡単に入力していた。	9	35%
2 子どもたちは、入力に戸惑っており、教員が何度も説明する必要があった。	17	65%
合計	26	

(2) 「ぽーち」の利用による教職員の負担感について

1 負担感がある	13	50%
2 負担感はない	13	50%
合計	26	

(3) (2) で「負担感がある」と答えた方は、具体的にどのようなことを負担に感じましたか  
ログインやアプリへの要望

毎日各学級に数名ログインできない生徒がおりその対応が負担になる
正しいID・パスワードを入力してもログインできない。 それによる時間を取られてしまうこと。
アカウント入力をうまくできない生徒が何人かいた。Google アカウントに加えて別のアカウントを管理させるのは大変だと感じた。
大文字小文字の判定で同じ番号やパスワードを入力しても反応しないことが多かった。
毎朝体温チェックに加え、ぽーちの入力も行う必要があるから。体温チェックもぽーちで行えるようになってほしい。

実施する時間について

本校は朝読書を毎日実施しているので、朝に行うことについては負担がある。
朝読中に行う生徒も多く、メリハリがつきにくい。(タブレットを触ってしまうなど)

その他

事務的な負担感はないが、生徒の気分の良し悪しを毎日報告されることへ、精神的に負担に感じる教員（特に担任）はいると思います。
---

普段から生徒の様子を気にしたり声を掛けたりしている上、さらにぼーちによる気分不良で「放っておいてはいけない」と思ってしまい、負担を感じる。さらに一覧を受け取るのがすぐではないので、時差ができ、対応も一歩遅れてしまうのではないかという負担。

#### (4) 今回、「ぼーち」を実施したことによる好事例

SNS 相談に生徒が気軽に相談できる点
生徒の心の状況の変化を把握することができる。
その日の気分がひと目でわかるため、配慮できる。
シンプルに生徒の朝の気分を知ることができるのは良いことだと思う。

#### (5) 改善すべき点

##### ログインへの要望

たくさんの ID、パスワードが混在し、毎日、生徒が入力する際の負担をなくすためにシングルサインオンの方式にしてほしい
Google アカウントと共通のものだと使いやすい。
ID、PASS の入力

##### アプリへの要望

入力しているかどうかのチェックが即時にタブレットでできれば入力指導もしやすい。
教師用の管理画面等があれば、すぐに生徒の入力状況を確認することができ、とても良い。
もっとわかりやすいシステムであれば負担が少ないです。

##### 健康管理を同時に行いたい

心の可視化に、毎日の健康観察（体温、症状など）をセットし、教員全体が把握できるような仕様に変更されれば、取り組む意義がある。
検温の記入もここでできれば作業が大幅に楽になる。

## その他

継続するのであれば、家庭で事前に実施させる。
問い合わせで教師を挟む手間を省ければ。
全員が行っていない。
生徒の主体性に行なってくれるといいなと思う。
気軽に生徒が相談できる仕組みは素晴らしいが、この程度であれば毎日入力させる必要を感じなかった。

# 「ぽーち(仮)」の使い方 (子ども側)



アプリをつかえるようにしよう



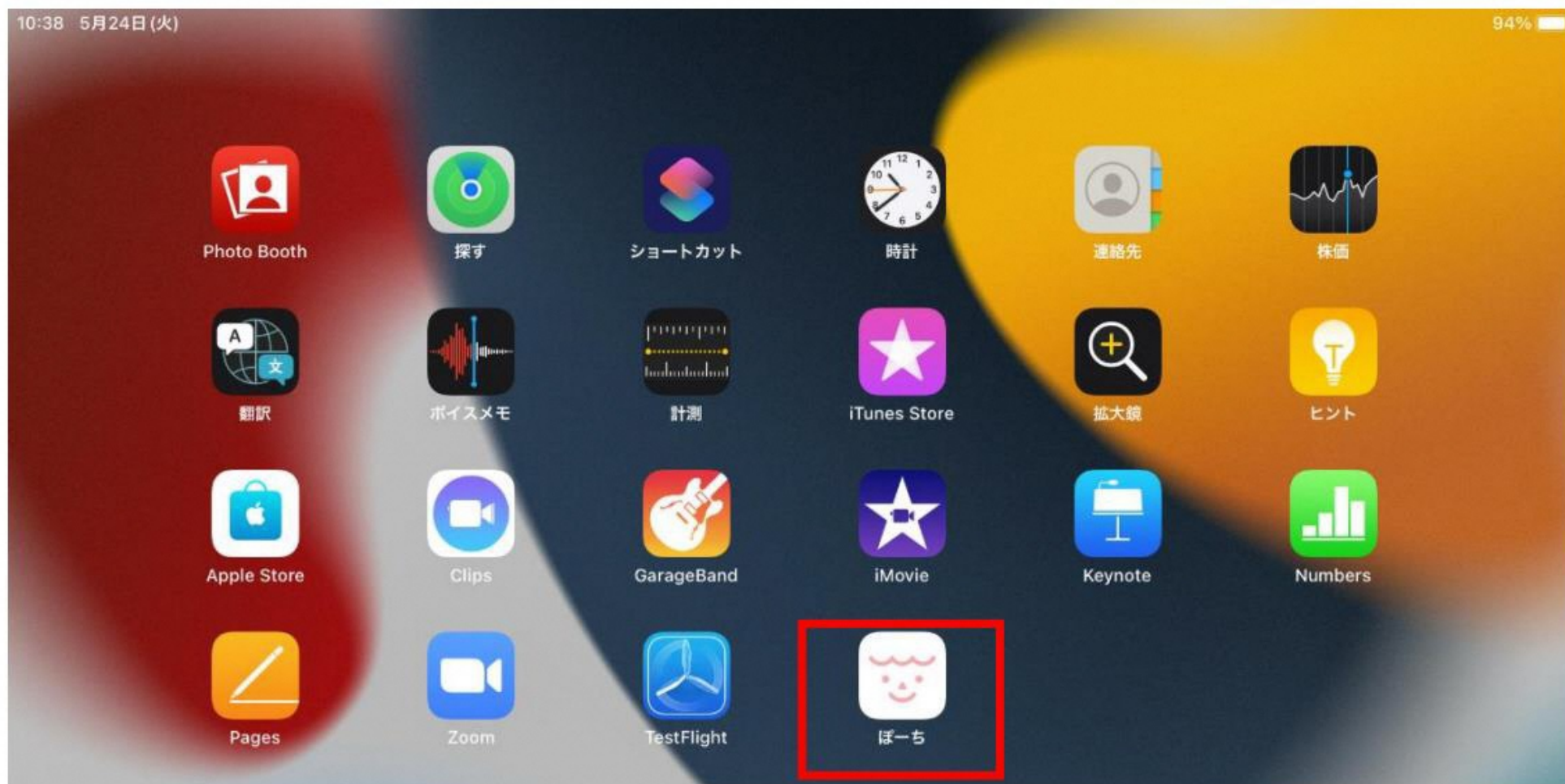
「気分」と「体調」を発信しよう



学校以外の大人に相談するには

# 1-1 アプリをたちあげる

「ぽーち」をタップ





# 1-2 アカウント作成

(ア)「アカウントを作成」をタップ



# 1-2 アカウント作成

## (イ)「ログインID」を設定

### 4文字以上

数字	のみ	○
アルファベット	のみ	○
数字+アルファベット		○

例) 1234  
ABCD  
12AB

※大文字・小文字両方使えます。



基本的に子どもが管理するものだが  
≪1年2組3番の児童・生徒≫  
例) 010203 でも可

# 1-2 アカウント作成

(ウ)「パスワード」を設定

6文字以上

[ 数字のみ ○ ]  
[ アルファベットのみ ○ ]  
[ 数字+アルファベット ○ ]

例) 123456  
ABCDEF  
123ABC

基本的に子どもが管理するものだが  
学年の実態に応じて、  
統一パスワードでも可



# 1-2 アカウント作成

## (エ)「ニックネーム」を設定

ナビゲーター

ログインするためのIDを入力してね。  
10:44

testuser123  
10:46

ログインするためのパスワードを入力してね。  
10:45

\*\*\*\*\*  
10:45

IDとパスワードが設定されました。  
さっそくだけあなたのことを教えてください。  
ニックネームはなんですか？  
10:45

ここに入力してね

# 1-2 アカウント作成

(オ)「性別」を入力





# 1-2 アカウント作成

## (カ)「生年月日」を入力

(カ) 生年月日を入力し、「OK」ボタンをタップする。

The screenshot shows a mobile app registration screen. At the top, there is a pink button labeled "ナビゲーター". Below it, a message bubble says "はなこさんですね！よろしくお願いします♪ 性別を教えてください。" with a timestamp of 10:46. To the right, a green bubble indicates "女性" with a timestamp of 10:46. Below this, another message bubble says "生年月日を教えてください。" with a timestamp of 10:46. At the bottom, there is a date picker with three columns: "年" (Year), "月" (Month), and "日" (Day). The selected date is 2006年, 1月, 1日. To the right of the date picker is a green "OK" button. Red boxes highlight the date picker and the "OK" button.

年	月	日
2006年	1月	1日
2007年	2月	2日
2008年	3月	3日
2009年	4月	4日

# 1-2 アカウント作成

(キ)「地域」を入力

The screenshot shows a registration form titled "ナビゲーター" (Navigator). It contains two text input fields and a date picker. The first field is for the birth date, with a message "生年月日を教えてください。" (Please tell me your birth date.) and a timestamp of 10:46. The second field is for the region, with a message "最後に、はなこさんが住んでいる地域を教えてください。" (Finally, please tell me the region where Hanako lives.) and a timestamp of 10:46. The date picker shows "2006年1月1日" (January 1, 2006) and a timestamp of 10:46. The region input field is highlighted with a red border and contains the text "大阪市" (Osaka City). Below it, other options are visible: "枚方市" (Mihari City), "高槻市" (Takunaka City), and "吹田市" (Futatabi City). An "OK" button is also highlighted with a red border.

生年月日を教えてください。  
10:46

ナビゲーター

2006年1月1日  
10:46

最後に、はなこさんが住んでいる地域を教えてください。  
10:46

大阪市  
枚方市  
高槻市  
吹田市

OK

# 1-2 アカウント作成

(ク)アカウント作成完了

アカウント作成完了のメッセージが届きます







アプリをつかえるようにしよう



「気分」と「体調」を発信しよう



学校以外の大人に相談するには

# 1-3 ログイン

## (ア)IDを入力

ナビゲーター

2022-May-24

こんにちは。IDを入力してください。  
はじめて利用する場合は、「アカウントを作成」ボタンをおしてください。  
10:49

アカウントを作成

ここに入力してね

# 1-3 ログイン

## (イ)パスワードを入力

ナビゲーター

2022-May-24

こんにちは。IDを入力してください。  
はじめて利用する場合は、「アカウントを作成」ボタンをおしてください。  
10:49

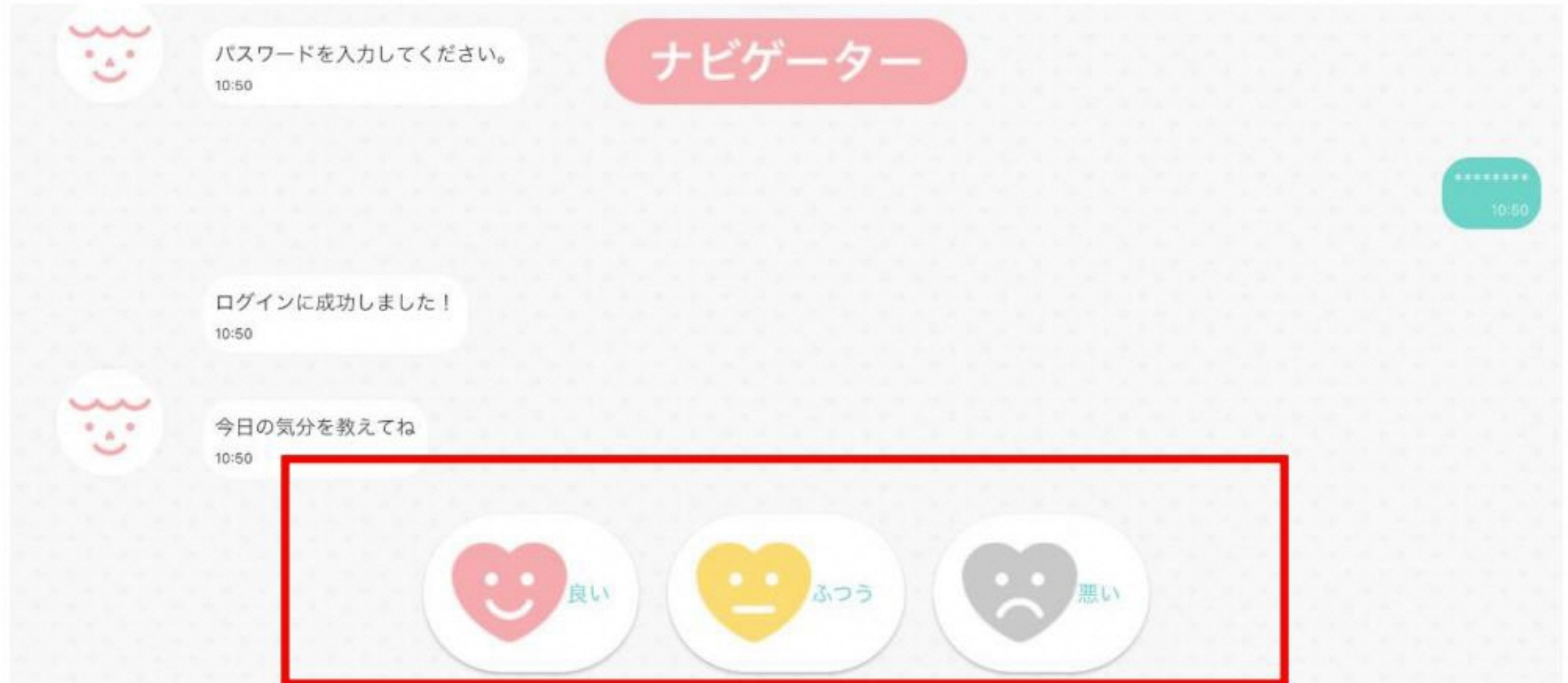
testuser123  
10:49

パスワードを入力してください。  
10:50

ここに入力してね

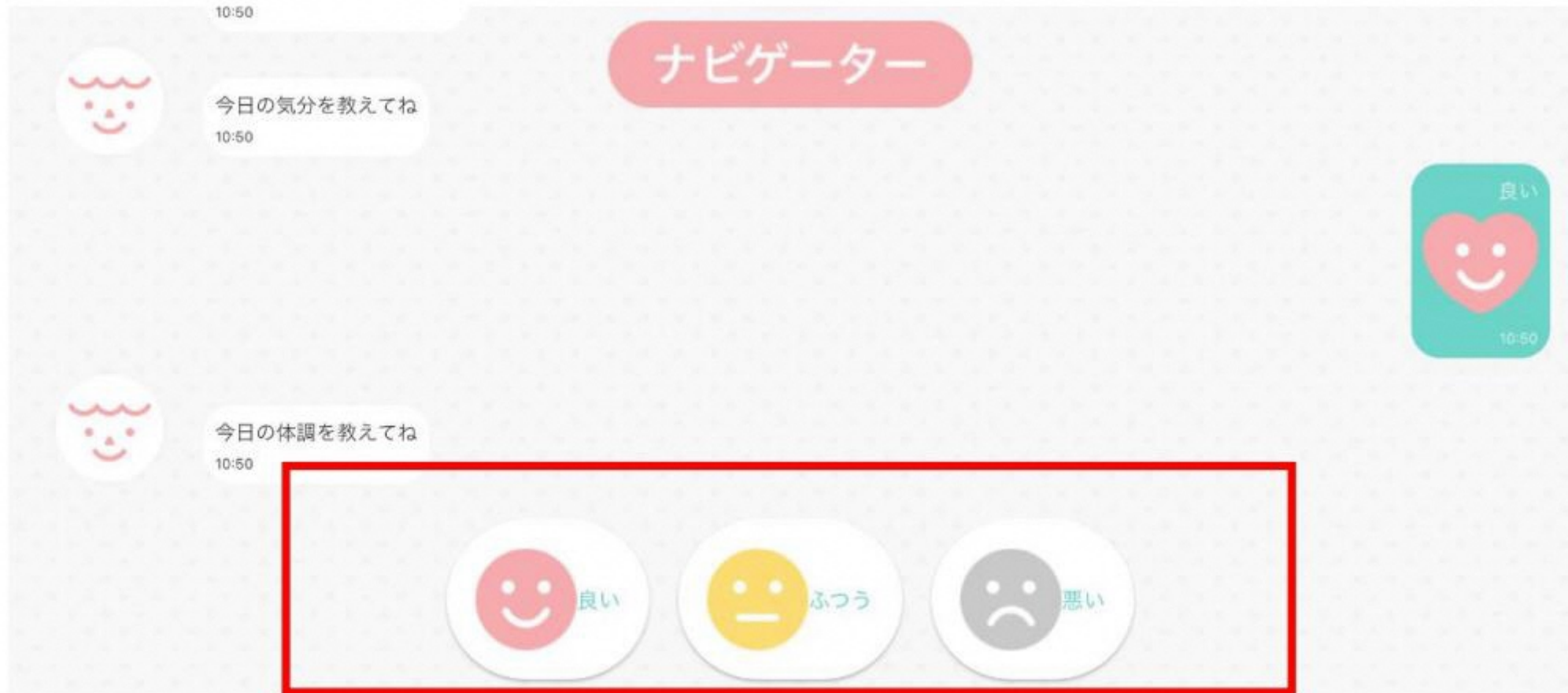
# 1-4 “アンケート”の答え方

(ア)「気分」を入力



# 1-4 “アンケート”の答え方

(イ)「体調」を入力



# 1-4 “アンケート”の答え方

(ウ)「ホーム画面へ」をタップ



# 1-5 “アンケート”の確認

## (ア)アイコンをタップ





# 1-5 “アンケート”の確認

(イ)「気持ち・体調カレンダー」をタップ

10:51 5月24日(火)

メニュー

気持ち・体調カレンダー



毎日の気持ちと体調の記録が確認できるよ



ユーザー設定

いまは設定できないから少し待ってね



今日の気持ち  今日の体調  ログアウト



はなごさん、こんにちは！

まだ相談がありません



# 1-5 “アンケート”の確認

(イ)「気持ち・体調カレンダー」をタップ



# 1-5 “アンケート”の確認

実証1期(夏季休業まで)

※このような形のファイルを、毎日メールにて提供します。

学校名	学年クラス	児童・生徒		7月1日	7月2日	7月3日
〇〇小学校	3年1組	A	気持ち	ふつう	ふつう	よい
〇〇小学校	3年1組	A	体調	よい	よい	わるい
〇〇小学校	3年1組	B	気持ち	わるい	わるい	ふつう
〇〇小学校	3年1組	B	体調	ふつう	ふつう	ふつう



アプリをつかえるようにしよう



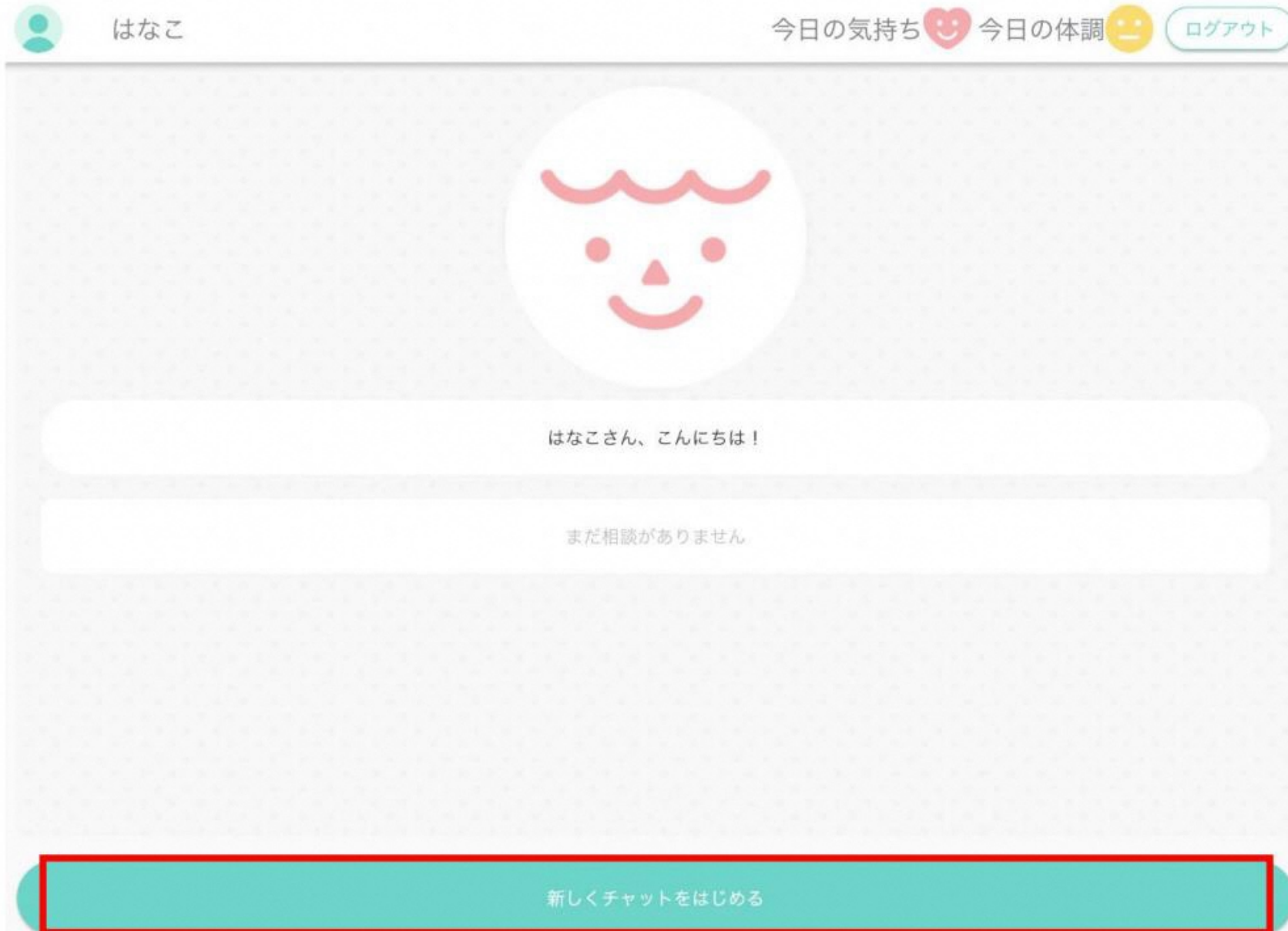
「気分」と「体調」を発信しよう



学校以外の大人に相談するには

# 1-6 相談をする

## (ア)「新しくチャットをはじめる」をタップ



# 1-6 相談をする

## (イ)「相談内容のジャンル」をタップ



# 1-6 相談をする

(ウ)「相談内容」を入力



# 1-6 相談をする

(工)「相談する先生」を選択→相談開始





# 1-6 相談をする

## (才)相談終了

